










意見書案第22号

神奈川県に対して、逗子海岸に計画中である「海岸警報盤」の設置場所の
再検討を求める意見書

標記の意見書案を別紙のとおり、逗子市議会会議規則第14条の規定により提出いた
します。

平成24年12月19日

逗子市議会議長 眞下政次 殿

逗子市議会議員	田中 英一郎	
同	匂坂 祐二	
同	横山 美奈	
同	奈須 和男	
同	高谷 清彦	
同	岩室 年治	
同	長島 有里	
同	君島 雄一郎	
同	松本 寛	

(別紙)

神奈川県に対して、逗子海岸に計画中である「海岸警報盤」の設置場所の再検討を求める意見書

神奈川県が津波災害等に備え、逗子海岸に設置を計画している「海岸警報盤」は、海岸中央入口に予定されているが、避難導線をふさぎ、かつ、海水浴期間中は、逗子海岸東浜からの視認に難があるとされている。

よって、逗子市議会は、神奈川県に対し、次の事項に基づく再検討を要望する。

- 1 現在の予定位置への設置を具体的なデータに基づき再検証すること。
- 2 設置場所の再検討は、特定個人や団体の意向だけで判断せず、大局的、客観的な基準に基づいて行うこと。
- 3 全高6.5mとされるアンテナは海岸警報盤から分離するなどして、逗子海岸の眺望を妨げない場所を再検討すること。
- 4 これらの検討経過については、神奈川県の情報公開制度を活用し、請求を行った際には、速やかに公開されること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年12月19日

逗子市議会